



2003年12月25日

各 位

王子製紙株式会社

広報室長 矢田雅之

日本独自の森林認証制度である「緑の循環」認証会議（S G E C）の森林認証を取得**（王子製紙社有林 上稲子山林（静岡県芝川町））**

王子製紙は、日本独自の森林認証制度である「緑の循環」認証会議（S G E C：Sustainable Green Ecosystem Council）の森林認証を王子製紙社有林である上稲子山林（静岡県芝川町）210haにおいて本日12月25日付で取得しました。今回の認証取得は日本製紙（株）の北山社有林（静岡県富士宮市）とともに第1号となります。

「緑の循環」認証会議（S G E C）は、昨今の国内市場における林産製品への環境要求の高まりに対応するため、本年6月に日本版森林認証システムとして創設されたものです。上稲子山林は審査機関である（社）全国林業改良普及協会による審査を10月から受けていました。なお、S G E C創設においては当社大國会長が日本製紙連合会会長の立場で「S G E Cの発起人会議」のメンバーとして、また創設後は「S G E Cの理事」としてS G E Cをサポートしています。

王子製紙は、今後森林認証の重要性が世界的にも加速することが予想されること、民間としては日本最大の森林所有者（国内に約700箇所、約19万ha（大阪府とほぼ同じ面積）を所有）として企業の責任を果たし、日本版森林認証に積極的に関与していくことが重要であること、森林認証制度は木材利用の観点のみならず、今後地球温暖化防止のCO2吸収源として社有林が適正な評価を得る上で重要となる可能性が高いことから、積極的に認証取得に取り組むことにしたものです。

今回森林認証を取得した上稲子山林は富士山南西部にあり、富士川の支流の一つである稲子川が流れるなど、周囲の景観に優れ、同山林を通る天子ヶ岳（1330m）登山道には、毎年多くの登山客が訪れています。土壌は、肥沃な黒ボク土壌であることから樹木の成長に適しており、戦前からスギ・ヒノキ人工林施業が行われ、近年富士川流域は富士ヒノキの産地として知られています。王子製紙では本山林を森林経営モデル山林に指定し、間伐を積極的に進めるための路面整備に取り組んできました。ha当たりの¹路網密度は56mという高水準にあり、1986年冬から全人工林を²収入間伐を基本とする材積率30%程度の間伐を行ない³複層林化に取り組んでいます。間伐されたものは地元の木材市場に出荷され、⁴かもいや柱などの建材に使用されています。手入れが行き届いた上稲子山林は、地域林業の模範となっており、地元住民とのつながりも深く良好な関係を築いています。

王子製紙は海外での植林地ではF S C認証を中心に森林認証の取得に取り組み、国内の社有林についてはこのS G E C認証の取得を進めていくことにしております。

¹路網密度：一般には20～30mが平均的で、高いほど管理が行き届いた森林とされる

²収入間伐：販売を前提とした間伐

³複層林：同じ樹齡の森林とせず複数の樹齡を混在させること。非皆伐施業となるため、風倒木の被害が抑えられ、水源かん養などの公益的機能を効果的に果たし、優良材の生産に有利とされている

⁴かもい：障子・ふすまなどの建具をはめる開口部の上に渡す溝付きの横木

以上



OJI PAPER

www.ojipaper.co.jp

**(参考)****王子製紙社有林 上稲子山林**

所在地	静岡県富士郡芝川町上稲子字沖山 3052-1 外		
沿革	1971年に購入		
森林の面積	210.94ha		
森林現況	約90%がスギ・ヒノキ人工林で、そのうち98%が41年生以上		
	区分	面積(ha)	割合(%)
	スギ人工林	116	55
	ヒノキ人工林	72	34
	広葉樹林	2	1
	除地	21	10
	計	211	100
特徴	<p>【高い路網密度】 王子製紙が取得した1971年当時は、公共林道が未整備で間伐などの手入れも遅れ気味であったが、1984年に当社の森林経営合理化プロジェクトのモデル山林に指定し間伐を積極的に進めるため路面整備に取り組み、これまでに自力作業道8,838mを開設した。公共林道(3000m)とあわせると11,838mとなり、ha当たりの路網密度56mという高い水準に有る。</p> <p>【地元住民とつながりが深い】 森林の管理は、王子製紙グループの王子木材緑化(株)が行なっている。保育作業は、監視人を含む地元在住の3名が担当。伐採・搬出作業は、搬出はタワーヤード(タワー付集材機)とグラップル(切断された木材を運ぶ機械)を組み合わせた作業システムを採用している。</p> <p>【研究林としても活用】 王子製紙森林資源研究所(三重県亀山市)の試験地として、複層林(2段林)、带状複層林、ヒノキ天然下種更新などの試験林があり、各種データが記録されている。</p>		

上稲子山林の風景